

項目番号

学習項目

30

常陸牛

2年A組8

作成者

茨城を代表する黒毛和牛 常陸牛

今から遡ること約180年前、天保3年に徳川齊昭公が
現式の水戸市内に桜野牧を設け、そこで牛を飼育
したところから始ります。時代を重ねると共に生産者を精選
し努力を重ね、品質の高い黒毛和牛が生産されるよう
になり、昭和51年に「常陸牛」が誕生しました。

豆 牛の好物

牛は1日10kgの食料を
ムシャムシャ食べます
なぜかはお水かほせ
んかに与えると
かなりムシャムシャ
食べるので、
好物なのでは？
とてもおいしいそう
に食べています。

豆 牛の胃袋

人間を始め、
多くの生物は、
胃が一つしか
ありませんが、
牛はなんと4つ
その胃袋を持つ、
これは容量はとて
大きく、ひとつの
胃は200リットル
あります。



牛のひづめ

サロイン
ロス
ヒレ常陸牛の首・背・
主な部位

飼育環境

牛が若いころは、健康でしっかりした骨格を
持った牛となるように、自然の中で育て、大変大変
そうそう、大豆などのミネラル豊富で飼料を始める
良質な乾牧草と稲ワラを充分食べて、
大きくなると管理の徹底した牛舎で毎日1kgを目
配りして飼育します。

よくお肉の売り場で見かける
「松阪牛」や「佐賀牛」は「ブランド牛」
です。常陸牛も「ブランド牛」の一つで
特定の産地名が冠せられた牛肉です。
しほけるような食感で、肉もとてもおいしい
ようです。

図表等級

	5	4	3	2	1
A	A5	A4	A3	A2	A1
B	B5	B4	B3	B2	B1
C	C5	C4	C3	C2	C1